

MS&C

株式会社 MS &amp; Consulting

2026年2月期 第1四半期

決算説明資料

## ✓ 業績

- 売上収益 496百万円 前年同四半期比16.2%増
- 売上総利益 96百万円 前年同四半期比110.7%増
- 営業損益 △72百万円 前年同四半期差異51百万円増

## ✓ 重点活動方針(収益性の改善)の進捗

- 原価率が前第1四半期の89.3%から80.6%まで低減
- 販管費率が前第1四半期の40.6%から34.6%まで低減

## ✓ 業績予想

- 上期業績予想に対する売上収益進捗率は41.4% 前年同四半期比6.2ポイント改善
- 第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた  
上期業績予想に対する売上収益充足率は79.5% 前年同四半期比9.2ポイント改善
- 2026年2月期業績予想は達成の見込み

# 連結P/L(四半期比)

単位：百万円	2026年2月期 第1四半期	2025年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
売上収益	496	427	69	16.2%
売上原価	△ 400	△ 381	△ 19	4.9%
売上総利益	96	46	51	110.7%
販管費	△ 172	△ 173	1	-0.8%
その他の営業損益	3	4	△ 1	-21.6%
営業損益	△ 72	△ 123	51	—
EBITDA	△ 41	△ 96	55	—
親会社の所有者に帰属する 当期損益	△ 43	△ 73	30	—

✓ 前年同四半期比、売上収益16.2%増、売上総利益110.7%増、営業損益51百万円増

- 売上収益は、MSR20.3%増、SaaS5.6%減、コンサルその他10.8%増(増減要因はp4参照)
- 売上原価4.9%増、販管費0.8%減、以下が主な要因

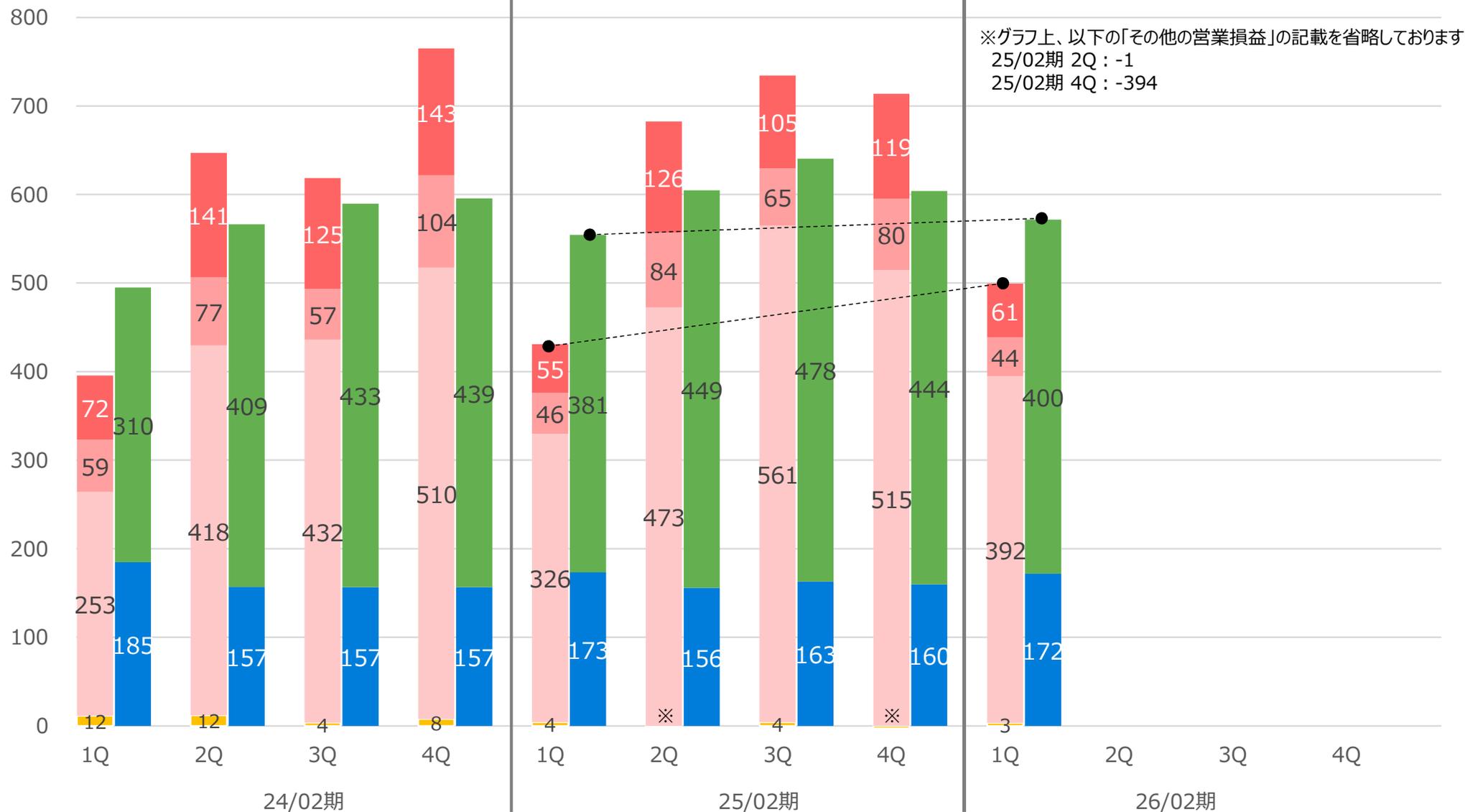
## 【売上原価】

- 調査数増加に伴うモニター謝礼の増加 (+)
- MSR生産コストの低減、IT構成などの見直しによる賃借料の抑制 (-)

## 【販管費】

- 新規採用による人員増や昇給に伴う人件費の増加 (+)
- 旅費交通費・接待交際費・貸倒引当金繰入額の抑制 (-)

# 連結P/L(四半期推移)

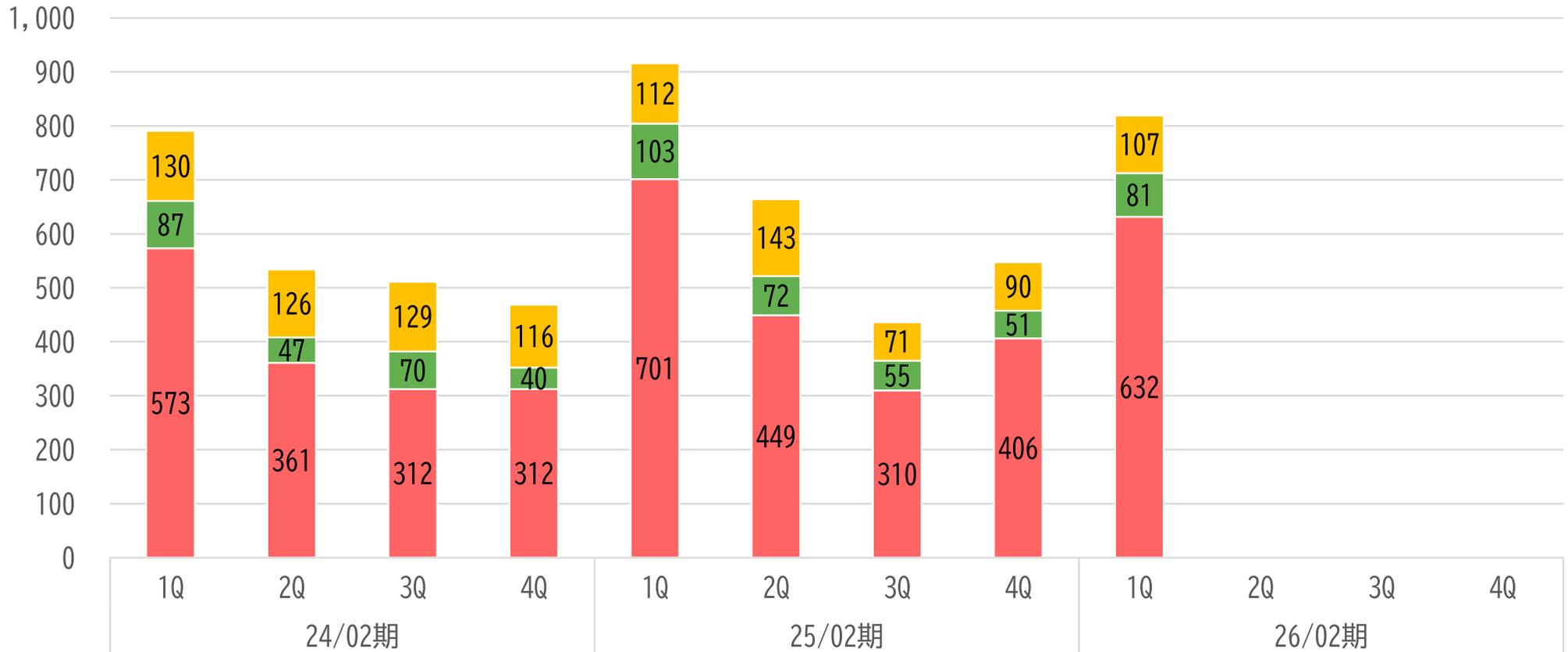


単位：百万円

■ その他の営業損益 ■ 売上(MSR) ■ 売上(SaaS) ■ 売上(コンサル・その他) ■ 販管費 ■ 売上原価

- ✓ MSRは前年同四半期比20.3%増
  - 前年同四半期比
    - 通常調査16.1%増
    - 海外関連調査22.9%増
    - 送客 + 調査型サービス28.1%増
- ✓ SaaSは前年同四半期比5.6%減
  - 前年同四半期比 チームアンケート14.1%増
  - binoのサービス終了(2025年7月予定)等の影響でマイナス  
ただし、binoサービス終了により今期7百万円のコスト抑制が見込まれる
- ✓ コンサルその他は前年同四半期比10.8%増
  - 通常コンサル18.7%増  
人手不足を背景としたニーズによる案件数の増加、増強した人員の戦力化が引き続き進む
  - 補助金・助成金コンサル56.2%増  
新たな制度に対応し支援ラインナップを拡充することによって案件数が回復
  - コストダウン商材の販売終了予定によるマイナスも発生

# 国内における受注高の推移



単位：百万円

■ MSR ■ SaaS ■ コンサル・その他

✓ 受注高は前年同四半期比10.6%減(MSR 9.9%減、SaaS 21.5%減、コンサルその他 4.4%減)

- MSRの大型継続案件の受注が前第4四半期に計上されるなどの期ズレが発生
- SaaSはbinoのサービス終了による受注減も影響

# 連結P/L(予想進捗率)

単位：百万円	2026年2月期 第1四半期累計 (実績)	2026年2月期 第2四半期累計 (予想)	予想 差異	予想 進捗率	2026年2月期 連結会計年度 (予想)	予想 差異	予想 進捗率
売上収益	496	1,198	△ 702	41.4%	2,746	△ 2,250	18.1%
売上原価	△ 400	—	—	—	—	—	—
売上総利益	96	—	—	—	—	—	—
販管費	△ 172	—	—	—	—	—	—
その他の営業損益	3	—	—	—	—	—	—
営業損益	△ 72	△ 8	△ 64	—	247	△ 320	—
EBITDA	△ 41	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に帰属する 当期損益	△ 43	3	△ 46	—	151	△ 194	—

## ✓ 2026年2月期業績予想は達成の見込み

- 上期業績予想に対する売上収益進捗率は41.4%、  
第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた上期業績予想に対する売上収益充足率は79.5%
- 通期業績予想に対する売上収益進捗率は18.1%、  
第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた通期業績予想に対する売上収益充足率は54.6%

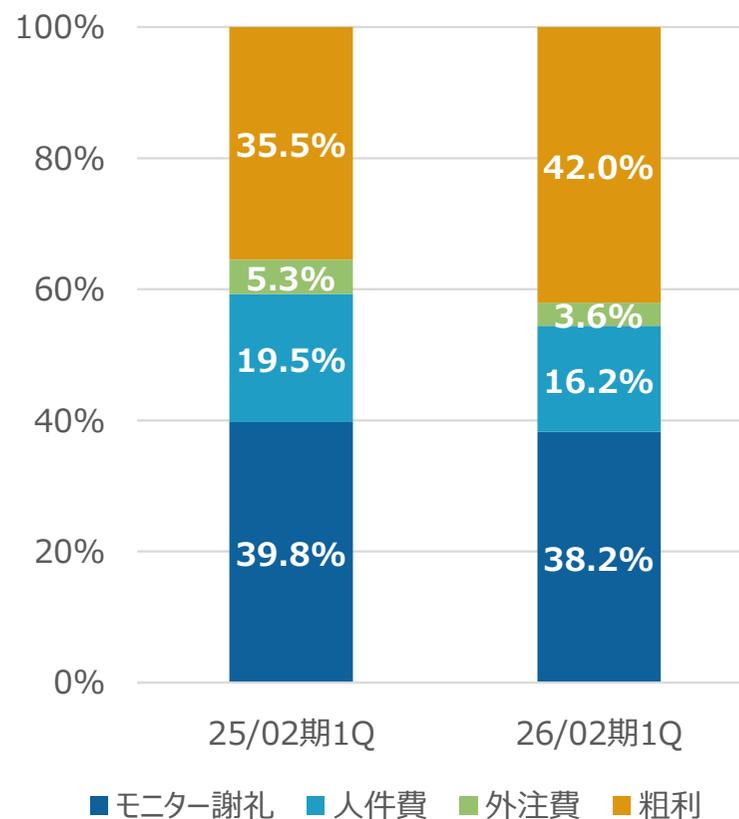
## ① 更なるMSRのレポート生産コストの低減

- ✓ 各種生産性向上の取り組みにより粗利率が6.6ポイント改善
  - LINEとのID連携を進め、LINEを活用したモニターアサインコスト低減  
新モニターサイトの継続的改善によりモニター謝礼比率が1.5ポイント減
  - AI活用によるレポートチェックの負担軽減  
人件費比率が3.3ポイント減、外注費比率が1.7ポイント減
- ✓ 顧客との交渉による販売単価の向上
  - 販売単価は前年同四半期比11.1%増

## ② 全社収益性改善運動の展開

- ✓ 原価率 80.6% 8.7ポイント改善  
モニター謝礼比率、人件費比率、外注費比率の低減等による
- ✓ 販管費率 34.6% 6.0ポイント改善
  - IT構成などの見直しによるコスト抑制  
クラウドサーバーのパフォーマンス最適化と運用効率の向上
  - 旅費交通費・接待交際費抑制  
チーム及び個人別予算管理による統制を強化
  - 貸倒引当金繰入額抑制  
取引先からの未入金解消を促進し滞留売上債権の残高減少へ

MSRのコスト構造



※「重点活動方針」は、2025年4月14日開示の「2025年2月期決算説明資料」を参照

## 資 産

単位：百万円	2026年2月期 第1四半期 (2025年5月31日)	2025年2月期 連結会計年度 (2025年2月28日)
	現金及び 現金同等物	706
営業債権 及びその他の債権	300	454
流動資産合計	1,064	1,089
のれん	1,826	1,826
非流動資産合計	2,311	2,290
資産合計	3,375	3,378

## 負債及び資本

単位：百万円	2026年2月期 第1四半期 (2025年5月31日)	2025年2月期 連結会計年度 (2025年2月28日)
	社債及び借入金	118
営業債務 及びその他の債務	549	518
流動負債合計	730	778
非流動負債合計	41	48
資本金	78	78
資本剰余金	1,994	2,041
自己株式	-223	-359
利益剰余金	806	863
資本合計	2,604	2,552
負債及び資本合計	3,375	3,378

- ✓ 1Qの営業CF99百万円、投資CF△25百万円、財務CF52百万円により、現金及び現金同等物の残高は前期末から126百万円増加
- ✓ 1Q末のコミットメントライン契約に基づく短期借入の残高は100百万円

単位：百万円	2026年2月期 第1四半期	2025年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	99	178	△ 79	-44.4%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25	△ 38	13	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	52	△ 51	103	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	706	419	287	68.5%

## ✓ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税引前損益が53百万円改善したものの、営業債権の回収94百万円減少、法人税等の支払27百万円増加したため、前年と比較して79百万円の収入減

## ✓ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- システム開発費用の支出33百万円に加えて、投資有価証券の売却による収入10百万円が発生したため、前年と比較して13百万円の支出減

## ✓ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 短期借入金の返済額23百万円減少、自己株式処分による収入88百万円が発生したため、前年と比較して103百万円の収支改善

## 免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。